

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・8月号・付録
2018年8月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

第14回通常総会開催 事業報告、決算、新役員、 事業計画、予算承認

◆NPO法人放送批評懇談会

第14回通常総会報告

6月17日（日）午後2時45分からNPO法人放送批評懇談会の第14回（2018年度）通常総会をTKP新宿カンファレンスセンターカンファレンスルーム4Aで開催した。出席者は29名、委任状出席者は85名で、合わせて114名となり、当会正会員192名の2分の1を上回り、総会は成立した。審議の概要は以下の通りである。

第1号議案（議長の選任）

出席正会員の田中典子氏が推薦され選任された。

第2号議案（2017年度事業報告）

総務、出版編集、選奨表彰、企画開催、広報の5つの各事業ごとに委員長、担当者から報告があり、拍手で承認された。

第3号議案（2017年度収支

決算）

事務局長より2017年度の決算が報告された。

2017年度は収入が予算を上回り、費用の節減に努力して約160万円の黒字となった。限部紀生監事より

①監査の結果、決算報告は適正である。②健全財政が保たれており、経営努力を評価できるとの報告があった。議案は拍手で承認された。

第4号議案（第14期、15期役員）

定款第14条1項にしたがって、理事会準備会で作成された第14期、15期の理事候補者26名が提案され、監事2名とともに選任された。ここで総会を一時中断して、新しく選任された理事による第1回理事会を開催し、互選によって理事長ほか役職候補者を決めた。合わせて各事業部門の委員長候補を選出

した。理事会終了後総会を再開して新役員案が報告された。

*新役員は別掲の通り。

第5号議案（2018年度事業計画）

各委員長、担当者より新年度の事業計画が提案され、承認された。

第6号議案（2018年収支予算）

事務局長より、総額8870万円の予算案が説明のうえ提案され、拍手で承認された。

この後、総会議事録に議長と共に署名する議事録署名人2人を選任して午後4時30分に総会を終了した。

◆6月理事会報告

6月17日総会に先立って6月理事会を開催した。

1. 総会提出議案の件

総会に提案する議案について審議した。

事業報告、決算報告、事業計画案、予算案について、各事業担当の委員長、担当者からの説明があり、総会への提出を承認した。

2. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 水島委員長

・6月11日に編集委員会を開催し、「GALAC」10月号について検討した。

・10月号はクイズ番組特集を企画している。

・放送制度改革問題はシリーズ化し、さまざまな論点から取り上げることとした。

◇選奨事業委員会

〈テレビ委員会〉 出田委員長

・5月28日に月評会を開催した。月間賞にはシブヤノオト「オールナイトニッポン コラボスペシャル」(NHK)、NNNドキュメント「18「南京事件Ⅱ」歴史修正を検証せよ」(日本テレビ)、カンブリア宮殿「小平奈緒の金メダルを支え続けた感動

物語！知られざる相澤病院」(テレビ東京)、土曜ドラマ「やけに弁の立つ弁護士が学校でほえる」(NHK)の4本を選んだ。

〈ラジオ委員会〉 五井副委員長

・6月25日に定例会を開催予定。

〈CM委員会〉 稗田委員長

・6月19日に定例会を開催予定。

〈報道活動委員会〉 丹羽委員長

・報告は特になし。

◇企画事業委員会 桜井副委員長

・報告は特になし。

◇広報委員会 滝野委員長

・ギャラクシー賞での広報活動に力を入れた。委員会で取材班を組織し、SNSでの結果の速報アップ、大賞受賞者、DJパーソナリティ賞・受賞者インタビューなどを行った。し

第14期、第15期役員

理事長	音好宏
副理事長	橋本隆
専務理事	藤田真文(総務担当)
常務理事	藤久ミネ
	川喜田尚
	丹羽美之 (選奨事業委員会 報道活動部門委員長)
理事	水島宏明 (出版編集委員長)
	稗田政憲 (選奨事業委員長)
	出田幸彦 (選奨事業委員会テレビ部門委員長)
	五井千鶴子 (選奨事業委員会ラジオ部門委員長)
	服部千恵子 (選奨事業委員会CM部門委員長)
	桜井聖子 (企画事業委員長)
	滝野俊一 (広報委員会委員長)
	市村元 入江たのし
	岩根彰子 奥律哉
	茅原良平 上滝徹也
	小林毅 坂本衛
	鈴木健司 鈴木嘉一
	桧山珠美 山田健太
	中島好登(事務局長)
監事	隈部紀生 嶋田親一

【新任】理事・奥律哉、服部千恵子
【退任】理事・嶋田親一

かし、初めての試みでもあり雑音などで声が聞き取りづらくなってしまうなど反省点があった。今年は一部の動画のみのアップとした。

・委員長講評は公式動画を使用しフェイスブックにアップし、受賞者、正会員にも周知した。

3. その他

①正会員入会・退会の件入会

家田利一さん、境真理子さん、島崎英雄さん、新川周平さん、関美礼さん、長井展光さん、迎康子さん、本村隆さん、山口菜穂美さん、山田眞嗣さん

退会

谷口和巳さん

◆次回以降の理事会

7月31日(火)、9月21日(金)

【出席】

音好宏、橋本隆、藤田真文、丹羽美之、水島宏明、稗田政憲、出田幸彦、滝野俊一、市村元、茅原良平、五井千鶴子、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、鈴木健司、鈴木嘉一、山田健太、中島好登

田健太、中島好登

会議記録

「6月」……………	
11日	出版編集委員会
17日	理事会・第14回通常総会
19日	(選奨)CM定例会部会
25日	(選奨)ラジオ定例会部会
29日	(選奨)テレビ月評会

◆5月理事会報告

2018年5月29日、5月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 水島委員長

・5月14日に編集委員会を開催した。
・8月号特集はギャラクシー賞詳報。
9月号は医療ドラマと「おっさんずラブ」現象のドラマ2本立てを企画している。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉 出田委員長

・ギャラクシー賞大賞優秀賞の発表。大賞は映像17「教育と愛国」教科書でいま何が起きているのか(毎日放送)。優秀賞はNHKスペシャル「スクープドキュメント 沖繩と核」(NHK)、金曜ドラマ「アンナチュラ

ル」(TBS)、「100分deメディア論」(NHK)。

・4月22日に月評会を開催した。月間賞には、「バカリズムのそこスルーする？」(フジテレビ)、ETV特集「ラーマのつばやき」この社会の片隅で(NHK)、NNDドキュメント18「57年目の告白 強制不妊産み育てる尊厳奪われ」(札幌テレビ)、NHKスペシャル シリーズ「金正恩の野望」(NHK)の4本が選ばれた。

〈ラジオ部門〉 橋本委員長

・ギャラクシー賞大賞優秀賞の発表。大賞は「最期への覚悟」(CBCラジオ)。優秀賞はSBSラジオギャラリー「幸せのカタチ」本当の親子本物の親子(静岡放送)、「新里カオリのうららか日曜日」被爆72年『戦後』はいつまで続くのか(中国放送)、「ラジオと童話と」『サツちゃん』の阪田寛夫が残したもの(朝日放送ラジオ)。

・5月21日に定例会を開催し、深夜0時台の首都圏で放送している番組をテーマに、「ラジオ深夜便」(NHK)、「東京ポッド許可局」(TBSラジオ)、「レコメン！」(文化放送)、「ミ

ューコミプラス」(ニッポン放送)、「JET STREAM」(TOKYO FM)、「SPARK」(J-WAVE)の6本を聴取し議論を交わした。

〈CM部門〉 稗田委員長

・ギャラクシー賞大賞優秀賞の発表。大賞は資生堂ジャパン 表情プロジェクト。優秀賞は日清食品ホールディングス カップヌードル シリーズ HUNGRY DAYS「予告篇」魔女の宅急便篇、ユーキャン 企業「One Month パバと息子の1ヶ月のふたり暮らし」、大日本除虫菊 おでかけカトリス他 シリーズ「金鳥少年2017シリーズ」。

・5月22日に定例会を開催し、38本のCMを視聴し議論を交わした。花王 メリット新・メリット「登場篇」、キリンビール 淡麗グリーンラベル「GREEN JUKEROX 雨篇」、ダイハツ 新ハイゼットトラク「こわいおやじに篇」、住友生命 Vitality web「4種類のお男」などのCMが好評だった。

〈報道活動部門〉 丹羽委員長

・ギャラクシー賞大賞優秀賞の発表。大賞は「変わる自衛隊 地方から伝

えた一連の報道」(名古屋テレビ)。

優秀賞は「かえる先生のいきもの交遊録」(長崎ケーブルメディア)、「相模原障害者施設殺傷事件後の一連の報道活動」(NHK)。

・報告は特になし。

◇企画事業委員会 川喜田委員長

・報告は特になし。

◇広報委員会 滝野委員長

・第12回マイベストTV賞グランプリは日曜劇場「陸王」に決定した。

ベスト10にNHKスペシャルが4本入るといふこれまでにない投票結果となった。

・視聴者プレゼンターをGメンバーから募集し、静岡県在住の40代女性に内定した。交通費は放懇負担とすることとした。

・5月15日に広報委員会を開催し、贈賞式対応を検討した。SNS強化としてフェイスブックに速報写真をアップ。また、動画にもチャレンジし、受賞シーンの動画を撮影するほか、受賞者コメントを独自取材する。各部門委員長講評もフェイスブックにアップする。

2. その他

①ギョラクシー賞贈賞式の件 入江

理事

・個人賞・高橋一生さんの出席が可能となったほか、受賞者ゲストも決定した。

・ラジオCMの演出方法を検討した。

・来賓はNHK会長・上田良一氏、

日本民間放送連盟副会長・脇阪聰史

氏、ニッポン放送代表取締役会長・

重村一氏に内定。

・出席者は昨年度より微増の見込み。

②入会の件

〈正会員〉 今村和夫さん、掛原雅行

さん、風間恵美子さん

〈維持会員〉 (組織変更により) 朝日

放送テレビ、朝日放送ラジオ

③正会員会費長期滞納者の件

返答がないため、退会とする。

【出席】

音好宏、橋本隆、藤久ミネ、川喜田

尚、丹羽美之、水島宏明、稗田政憲、

出田幸彦、滝野俊一、入江たのし、

茅原良平、五井千鶴子、桜井聖子、

嶋田親一、鈴木健司、山田健太、中

島好登

会議記録

〔5月〕

14日 出版編集委員会

15日 広報委員会

21日 (選奨) ラジオ定例部会

22日 (選奨) CM定例部会

28日 (選奨) テレビ月評会

29日 理事会

◆4月理事会報告

2018年4月26日、4月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 水島委員長

・4月19日に編集委員会を開催した。

・7月号表紙は横山裕さん、ザ・パ

ーソンは柘植伊佐夫さん。特集は

「決定! 55回ギョラクシー賞」。

・8月号はギョラクシー賞応募多数により選評にページを割くため、特集は行わないこととした。

・9月号は特集に放送法、医療ドラマを企画している。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉 出田委員長

・3月28日に月評会を開催した。3

月度月間賞には、E T V特集「忘却に抗う」福島原発裁判・原告たちの記録」(NHK)、金曜ドラマ「アンナチュラル」(TBS)、「100分deメディア論」(NHK)、「anime」(日本テレビ)の4本を選んだ。

・4月22日に選考会を開催して入賞作品14本を決定した。下期には一般作品138本、今年度から応募制を取り入れたフロンティア賞には10本のエントリーがあり、合計148本の応募があった。年間331本で、3、4年ほど前と同レベルの応募数となった。地上波の応募数はほぼ例年通りだが、BS、CS、制作会社からの応募が減少している。

〈ラジオ部門〉 橋本委員長

・4月9日に定例会を開催し、農業番組をテーマに「おはようサンデー安元佳奈のもっと×2教えて！農業」(大分放送)、「熊本電力Present 未来農場」(エフエム熊本)、「ナチュラリズム」(エフエム栃木)の3本を聴取し議論を交わした。

・4月23日に最終選考会を開催して入賞作品8本を決定した。下期には42本の応募があった。応募数は年間92本で、前年度約20本増となった。

F M、コミュニティ放送局からの応募が増えた。

〈CM部門〉 稗田委員長

・4月13日に定例会を開催し、32本のCMを視聴し議論を交わした。W O W O W「合唱篇」、赤城乳業「チヨコミント」よく分らない篇」、日清「カップヌードル「ヤバイ。なんか熱い。舞踏審議篇」、ハズキルーパー「渡辺謙さん・菊川怜さん篇」などのCMが好評だった。

・4月24日に選考会を開催して入賞作品13本を決定した。下期には175本(テレビCM99本、ラジオCM76本)の応募があり、応募数は年間で321本となった。今年度から選考に取り入れたラジオCMは予想をはるかに上回る応募数だったが、一方テレビCMは前年度の5本増で、数年前に比べると、やや低調気味と言える。

〈報道活動部門〉 丹羽委員長

・活動報告はとくになし。
・4月19日に選考会を開催して入賞作品6本を決定した。下期には21本の応募があった。年間の応募数は30本で、例年通りとなった。ここ数年は下期に応募数が増える傾向にある。

◇企画事業委員会 川喜田委員長

・報告は特になし。

◇広報委員会 事務局

・4月25日～5月10日までグランプリ投票を行い、5月17日の記者会見で結果を発表する。

・ギャラクシー賞贈賞式でのマイベストT V賞視聴者プレゼンターをメンバーから募集する。

2. その他

①ギャラクシー賞贈賞式の件

・3月理事会で案内状に司会者を記載することとしたが、司会者の確定が遅れたため、5月17日記者会見／プレスリリースで司会者発表を行うこととした。

・正会員への案内状は「G A L L A C」に同封する。

・来賓はNHK会長・上田良一氏、日本民間放送連盟副会長・脇阪聰史氏に内定。

②退会の件

大野三郎さん、松本恭幸さん

③正会員会費滞納者の件

2名のうち1名から正会員継続の意志表示があった。

④第三種郵便物定期調査の件

3年に1度の定期調査があり、承認

を得た。

【出席】

音好宏、橋本隆、藤久ミネ、川喜田尚、丹羽美之、水島宏明、稗田政憲、出田幸彦、入江たのし、五井千鶴子、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、鈴木健司、山田健太、中島好登

会議記録

「4月」

9日	(選奨) ラジオ定例部会
13日	(選奨) CM定例部会
17日	企画事業委員会
19日	出版編集委員会
22日	(選奨) テレビ月評会
26日	理事会



想い出をいっぱいもらいました

今村和夫

もう40年も昔のことですが、文化放送入社早々に報道部に配属。「15歳 非行少女の記録」という作品で賞をいただきました。

今では古き良き時代かもしれません。マルタ観光年にサックス奏者M AL T Aを連れてマルタ島にいったり、B O B M A R L E Y 没後1周年にジャマイカ取材でJ I M M Y C L I F F に会い、好き勝手に遊ばせてもらいました。キングストンに行くバスは銃弾で窓ガラスはないし、着いたその日に電話局が焼き討ちにあつて日本に連絡がとれない。ラムをあおつて、ブルーマウンテンを眺めながら、録音機に話しかけて途方に暮れたなんてこともありまして。印象に残るのは、1990年、初めて境内で開催した上々颱風花園神社七夕ライブ。拝殿階段で演奏中のメンバーの真ん中をおばあさんが普通に参拝、なにごともないかのようにお参りして帰っていかれたこと。音は理屈ではなく空気を伝える。マイクがあればどこへでもいける。ラジオだからこそ自由に気さくに。

新入正会員自己紹介

やっぱりコンテンツが一番

掛原雅行

ネットは今、コンテンツの質が問われており、限界を感じている。先日、ネット広告に関するセッションに放送の立場として登壇する機会があり、その際にネット側の人から出た言葉だ。

私自身、放送局にて90年代後半のネット黎明期から担当をしており、放送局にいながら軸足を半分以上ネットに置いていた。コンテンツをどうネットに展開するのがいいのか、それをユーザーがどう望んでいるのかを、ハード、ソフトの両面から長い間試行錯誤してきた。

この度、独立するのを機会に、お声がけを頂戴した。業界の重鎮が名を連ねるなかに加えていただくことは大変光栄で身が引き締まる思いだ。ネットであれ放送であれ、広告を回す上でも、結局はコンテンツの力が最も大切であり、これからの時代に必要とされるコンテンツをプロとして生み出し続けていくために、そういう視点からのお手伝いができるかと僭越ながら考えている。

CMは時代を映す、
変わりゆく人の心や流行も

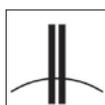
風間恵美子

大学卒業後は客室乗務員として飛行機に乗っていました。その後は旅つながら(?)でガイドブックの編集事務所へ。夫の赴任先のロンドンから帰国後は、テレビCMの情報サービスを扱うCM総合研究所に入社。20年余り企業へのコンサルティングや広報PRをしていました。

CMシーンを振り返ると、チワワ犬「くうちゃん」のCMが一世を風靡し、「アミノ式」の人間離れた実写映像に驚かされ、「白戸家」ファミリーや「三太郎」のストーリーに癒されたり、笑ったり……。「CMは時代を映す鏡」の言葉通り、CMを振りかえることは、さまざまな時代のムードや感情を再現してみることもあります。人の心を動かすクリエイティブは、メディアの枠を超えていくと信じています。

数年前のクリエイター・インタビューがご縁の始まりで、このたびCM委員として参加させていただくこととなりました。多くのCMを見てきた経験を生かせればと思います。

◆放懸SNS発信中◆



フェイスブック
アカウント名「放送批評懇談会」



インスタグラム
アカウント名「houkon.jp」



ツイッター
アカウント名
「マイベストTV君 (@mybesttv)」



マイベストTV賞投票受付中!

ギャラクシー賞マイベストTV賞
2018年度6月度の投票受付中です。
皆さまの投票、コメントをお待ちしております!

投票はこちらから
<https://www.houkon.club/>



フォロー、「いいね👍」をお願いします!

「正会員名簿」についてのお知らせ

正会員の住所等連絡先の提供をご希望の正会員の方には、プリントした名簿を個別に郵送でお届けいたします。事務局にご請求ください。

名簿に記載する情報は、「正会員名簿回答書」(入会時に実施)で掲載許可をいただいたものに限ります。変更のある方は、事務局にお知らせいただければ幸いです。

また、正会員一覧の閲覧は、放送批評懇談会ホームページをご利用ください。(http://houkon.jp)
ホームページ上の正会員情報も随時更新いたしますので、変更のある方はお知らせください。

高橋一生

ブレイクの実感あり 「去年頭に始まったドラマから」

2018年5月31日

テレビ (まんたん) > サブカル



「第55回ギャラクシー賞」贈賞式に登場した高橋一生さん

俳優の高橋一生さんが、放送文化の向上に貢献した番組や個人・団体を表彰する「第55回ギャラクシー賞」で「テレビ部門 個人賞」を受賞し、東京都内で31日に行われた贈賞式（主催：放送批評懇談会）に登場。高橋さんは司会者の久米宏さんから、ブレイクの実感があるかと聞かれ、「ありますね。去年頭に始まったドラマ（NHK大河ドラマ『おんな城主 直虎』）から、そういう思いがあります」と話した。

【写真特集】 一生の“キラースマイル”にクラッ

<写真> 高橋一生、長澤まさみの口を突っ込み…

<高橋一生> “誰われ次女の一生涯”語る！！ 思いあふれて…

久米さんから「ブレイクした要因は？」と聞かれた高橋さんは、「自己分析をすると立ち止まる感覚になるので、お話（オファー）をもらった作品で駆け抜けてきました」と語り、昨年のことを覚えていないかと聞かれ「芝居をしている時の方が鮮明に覚えています。日常的なことが覚えていないかもしれないですね」と話していた。

高橋さんは、柴咲コウさん主演の「おんな城主 直虎」で、井伊家筆頭家老・小野次次の演技などが評価されての受賞となった。

「ギャラクシー賞」は、放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を表彰するために1963年に創設。今回で55周年を迎えた。「55周年記念賞」を脚本家の倉本聰さん、「テレビ部門 特別賞」を連続ドラマ「架空OL日記」（読売テレビ制作）で原作・脚本・主演を務めたバカリズムさんが受賞した。

また「フロンティア賞」には稲垣吾郎さん、草なぎ剛さん、香取慎吾さんの特別番組「稲垣・草なぎ・香取3人でインターネットはじめます『72時間ホンネテレビ』」（AbemaTV）、「マイベストTV賞」には俳優の役所広司さんが主演を務めた連続ドラマ「陸王」（TBS系）が選ばれた。

毎日新聞 5月31日

放題フェイスブックでも速報をUP!!

放送批評懇談会

作成者: 海野 俊一 5月31日 17:36

そして、最後の贈賞です。

テレビ部門の大賞は

毎日放送の 映賞'17「教育と愛国〜教科書でいま何が起きているのか」です。... もっと見る



1245人にリーチしました

投稿を宣伝



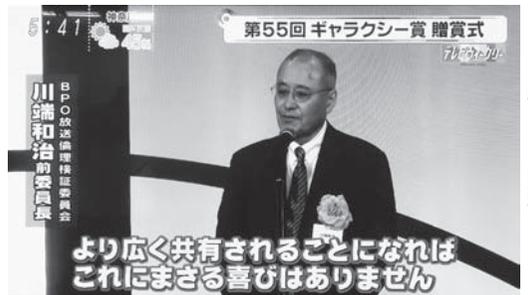
はやドキ！ 6月1日



めざましテレビ 6月1日



週刊フジテレビ批評 6月2日



週刊フジテレビ批評 6月2日



香取慎吾さん公式Instagram



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会

Vol.25

ギャラクシー賞ラジオ選奨委員会では、ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、その制作者にお話を伺う会を毎年、開いています。今回は、第55回ギャラクシー賞入賞作品を聴取する予定です。参加ご希望の方はFAX、メールいずれかにてお申し込みください(詳しくは裏面を参照)。ラジオ関係者に限らず、多方面からのご参加をお待ちしています。



児童相談所

ラジオで聴く日本の現状 終末医療と 子供の貧困・虐待

大賞受賞作

「最期への覚悟」 CBCラジオ(2017年5月27日放送)

ゲスト: CBCラジオ ディレクター 菅野光太郎さん

名古屋市で、終末医療の課題に真っ向から取り組む杉本由佳医師の日常を取材、在宅医療の先進モデルケースとして示しました。シンプルながら見事な構成、患者を見るまで立ち合い、取材を実現した製作者の熱意に、高い評価が集まりました。



取材も担当した菅野さんは番組内で

優秀賞受賞作

SBSラジオギャラリー 静岡放送(2017年5月28日放送)

「幸せのカタチ～本当の親子 本物の親子～」

ゲスト: 静岡放送 アナウンサー 原田亜弥子さん

血縁関係のない中から作り上げている親子関係「里親制度」を通じ、いまの時代に本当に必要な家族の絆のあり方とは何か、問いかけてます。舞台は、日本一里親に優しい街・静岡。ラジオだからこそ伝えてくれた、里親たちのリアルな声に感動します。



ギャラクシー賞最優秀賞と大賞を手に菅野さん



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会

Vol.25

◆日時:2018年7月22日(日)午後1時～5時※開場は午後0時30分

◆会場:文化放送 12階ホール(東京都港区浜松町1-3-1)
※集合場所は文化放送2階ロビーとなります。

◆主催・問い合わせ:NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会
TEL:03-5379-5521 FAX:03-5379-5510

◆協力:文化放送

◆参加費:お一人1,500円(学生の方は1,000円)

※当日、受付にて精算となります。また終了後、各自負担で懇親会を予定しております。

詳細は、当日お知らせいたします。

◆申し込み締め切り日:7月18日(水)

※但し、定員になり次第締め切らせていただきます。



参加ご希望の方は、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

●メールで

件名に「聴く会参加希望」、本文中に「お名前」「所属」「連絡先」「懇親会のご出席の有無」をご記入のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。複数でご参加の方も同時にお申し込みいただけます。

放送批評懇談会事務局

info@houkon.jp

●FAXで

この用紙の下部にある申し込み欄に必要事項をご記入のうえ、下記番号までお送りください。複数でご参加の方は、お手数ですが本用紙をコピーしてお申し込みください。

放送批評懇談会事務局

FAX:03-5379-5510



・JR浜松町駅北口すぐ
・都営大江戸線、都営浅草線大門駅1分
・東京モノレール浜松町駅1分

フリガナ お名前	所属
連絡先 TEL E-MAIL	懇親会 (どちらかにO) 出席・欠席

フリガナ お名前	所属
連絡先 TEL E-MAIL	懇親会 (どちらかにO) 出席・欠席

日時:2018年7月22日(日)午後1時～5時※開場は午後0時30分

会場:文化放送 12階ホール(東京都港区浜松町1-3-1)※集合場所は文化放送2階ロビーとなります。

主催・問い合わせ:NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会

協力:文化放送 (TEL 03-5379-5521 FAX 03-5379-5510)